

# 人と人、 人と社会、 今と未来を結ぶ “絆”がここに。

帝塚山大学では、

教職員と学生が強い絆で結ばれるきめ細やかな教育を実施。

仲間、先輩・後輩、地域社会や国際社会とつながるかけがえのない絆が、

帝塚山大学にはあふれています。





## 「絆」が支える教育がここに。



### 社会に広がる絆

**帝** 塚山大学は、1964年の開学以来、一人ひとりの個性を尊重しながら、人間的に大きく成長できるよう人間教育に力を注いてきました。建学の精神は今もなお受け継がれ、「教育力が強い」、「学生への教育・支援がきめ細かい」、「地域と国際社会に開かれた」、「個性豊かな」大学をモットーに、6学部10学科で特色ある教育を行っています。本学では、それぞれの学部が展開する独自の教育に加えて、地域社会と連携することで、その教育力を学生一人ひとりの“ひとづくり”に活かした教育を行なっており、社会に貢献できる地域に開かれた大学を目指しています。

また、学生の保護者や卒業生、卒業生の保護者で構成される「帝塚山ファミリー」による「取材型インターンシップ」や、「TF (Tezukayama Family) 講座」といった独自のキャリア支援も本学の大きな特徴の一つです。

「絆」で支えられたきめ細かな教育が、帝塚山大学にはあふれています。

本学では、

1. 広い国際的視野の上に日本の伝統・文化・社会に対する深い理解と幅広い教養を身につけ、
  2. 社会の要請に応える専門知識と創造力・実践力を備え、
  3. 地域と国際社会に貢献することのできる人材を養成
- を教育の理念に掲げています。

### 帝塚山大学 教育の理念



心のケアセンターにて  
一般の方を対象にカウンセリングを実施



野球部による地域清掃活動

### 帝塚山ファミリーとの「絆」



#### 「TF (Tezukayama Family) 講座」

卒業生や、保護者を講師として迎え、「社会に出る」ということ、「組織で働く」ということ、社会人としての常識やマナーなど「社会人基礎力」について、先輩からリアルに語っていただくことで、学生の職業観・就業観の形成を目指します。



#### 「取材型インターンシップ」

卒業生や、保護者が勤める企業で行うインターンシップ。通常のインターンシップに加えて、業務内容の状況を取り、その成果について、ビデオやeラーニングコンテンツなどを作成。学生自らが取材し、コンテンツを作成することで、社会的・就業的自立に必要な資質能力の育成に役立てます。

### 知の資産の提供

- 市民向け公開講座の開催
- eラーニングシステムTIESによる講座
- キャリアセンターによる資格取得講座の提供
- 聴講生・科目等履修生制度



#### 「ミニチュア大学院」

大学院人文科学研究科の所蔵資料を使った特別公開講座。本物の所蔵資料に触っていただきながら学び、時には臨地講義も行なうことで、より専門的に学びます。

### 産学官連携

- 奈良県の「女性の健康支援対策事業」へ健康サポートのための学生派遣
- 奈良県立民俗博物館との連携協定
- 奈良市との連携協力事業
- 奈良市スクールソポーターとして学生を派遣
- 生駒市の学市連携事業
- 生駒市の施設へ学生の子育てボランティアを派遣
- 生駒市の不登校児童生徒支援のために学生ボランティアを派遣
- 交野市との学市連携事業
- 交野市立の小・中学校(園)の児童生徒の生活及び学習支援へ学生ボランティアを派遣
- 香芝市の学市連携事業
- 大阪府ライフサポートセンターとの協定事業
- 大阪府立中央子ども家庭センターとの協定事業
- 古都飛鳥保財団との協定事業
- 南都銀行との産学連携協定事業
- 留学生による地域住民への語学講座の提供
- 学生有志による地域清掃活動



#### 「経営学部の産学官連携」

生駒市の商工観光事業の推進のために、生駒市、生駒市観光協会、生駒商工会議所と、産学官連携協定を締結しており、生駒市の活性化に向けて観光マップの作成や、生駒市を代表する土産品の制作他、様々な提案を行っています。



#### 「ヘルスチーム菜良」

現代生活学部 食物栄養学科の1,2年生を中心、奈良県の「女性の健康支援対策事業」に「ヘルスチーム菜良」として参加しています。例えば、大学生や高校生など若い世代の方々に、自分自身の食生活を見直すきっかけとしていたくことを目的に開催した「なら食育推進大会」(主催:奈良県他)や大学祭にて、体験型展示ブースを設置。地域の方々に、野菜や朝食を食べることの大さを訴えるとともに、肺活量や血圧の測定や、食事チェックを行っています。

### 施設の開放

- 図書館
- 附属博物館
- 心のケアセンター
- 子育て支援センター
- どんぐり林道
- 虹色祭(大学祭)
- あかね祭(新入生歓迎会)



#### 「織物実習室」

学園前キャンパスには、1,000を超える織物に関する様々な機器があり、本学の恵まれた施設を一般の方にも開放することを目的に特別公開講座「織物教室」を開催しています。講座では、居住空間デザイン学科の学生がアシスタントを務め、普段授業で使っている高機(たかはた)や糸巻き機の使い方のコツを地域の方に指導します。



#### 「子育て支援センター まつぼっくり」

子育て支援センターで年間を通して実施する「親子教室」では、各回テーマを設け、現代生活学部の教員の指導のもと、親子で遊び快さを実感したり、親同士・子ども同士が交流し、コミュニケーションを深めてもらうための活動を行っています。また、現代生活学部の学生が子どもとのかわりかたを学ぶ教育の場ともしています。



# 文部科学省大学教育改革支援事業 5年連続計11件の取組採択！

## 関西私立大学でトップクラスのGP採択率を誇ります。

帝塚山大学のさまざまな優れた教育取組は、文部科学省からも高く評価されており、GP(Good Practice)にも多数の取組が採択されています。



とは

大学教育の改善に資する様々な取組のうち、今日まで継続的に実施し、実績を挙げている取組に対して、文部科学省が支援する事業を指します。選定された事例を広く社会に情報提供することで、今後の高等教育の改善に活用されることを目的としており、国公私立大学が教育改善に取組む際、採択された事例が各大学及び教育のインセンティブになるとともに、他大学の取組の参考になり、高等教育の活性化が促進されます。

## プログラム名称

	事業名称	支援期間
大学生の就業力育成支援事業	卒業生・保護者と大学の協働型キャリア支援 —職業観・勤労観の形成と多様な職業人の育成をめざして—	平成22年度～23年度
大学教育・学生支援推進事業 (大学教育推進プログラム)	心理福祉分野の学士力基準構築と人材の育成 —心理福祉分野における実践力を備えた高度専門的職業人の育成のための地域支援教育カリキュラムの再編成—	平成22年度～23年度
大学教育・学生支援推進事業 (学生支援推進プログラム)	教育力を基盤とした全学的なキャリア形成支援体制の強化	平成21年度～23年度
大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム	北海道・関東・東海・近畿の大学連携による「知域」拡大プロジェクト (本学代表校)	平成21年度～23年度
質の高い大学教育推進プログラム (教育GP)	学生の学力・人間力・社会力の養成 —e能力ポートフォリオとe能力アセスメントを活用して—	平成20年度～22年度
社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム	国際ビジネス法務塾 —国際ビジネス法・ビジネス英語・交渉力のスキルアップのために—	平成19年度～21年度
産学連携による実践型人材育成事業 ～長期インターンシップ・プログラム開発～ (旧：派遣型高度人材育成協同プラン)	英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム —発信型英語の習得で奈良を海外に紹介—	平成19年度～21年度
現代的教育ニーズ取組支援プログラム (現代GP)	マルチプレイ型コンテンツ知財専門人材育成	平成18年度～22年度
特色ある大学教育支援プログラム (特色GP)	「心のケアとサポート」人材養成と自立支援 —地域の活性化と安心・安全な社会の創造のための実践教育—	平成18年度～20年度
	知的財産の法・政策・実務に強い人材の養成 —高大連携から学部・大学院教育まで—	平成16年度～19年度
	学生の自立性を高める教育学習支援システム —TIESライブ塾とサイバーチューターを活用して—	平成16年度～19年度

※上記取組みは、文部科学省からの支援終了後も大学独自の取組みとして継続的に実施しています。

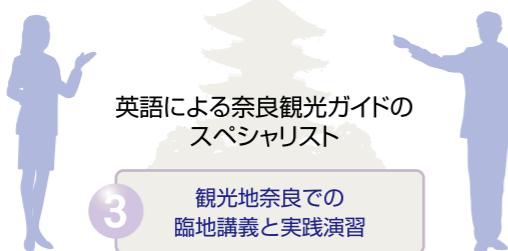
### 文部科学省の委託終了後も継続して実施 「英語による奈良観光ガイド人材養成プログラム」

本プログラムは、奈良県、奈良市、日本観光通訳協会、奈良市観光協会、奈良商工会議所、平城遷都1300年記念事業協会との連携による講座で、主に就職氷河期に就職できずにフリーターになった人々や、子育てが終わり専業主婦から仕事に復帰したい人々、定年退職後に社会貢献を目指す人々を対象に、観光英語の習得を目指して発信型英語の訓練を行い、奈良を英語で観光案内ができる社会人を養成しています。これまでに、委託事業期間の3年間で計5回実施し、その後も行政機関や一般市民からの強い要望を受け、継続して実施しています。本プログラムにおいて、カリキュラムとして設定する授業科目群は、(1)日本及び奈良に関する文化・歴史を学ぶ科目、(2)実践英語と観光英語を学ぶ科



目、(3) 観光地奈良での臨地講義と実践演習から構成されています。特に(3)で展開している「奈良観光総合演習」は、教室内で講義を聴き、総合演習ではその講義内容を実地でのガイディングを通して学ぶスタイルをとっています。プログラムの前半は、講師が実地で説明する内容を理解し、後半からは、受講生が実際にガイディングを行い、実践面を十分に鍛えることができるよう構成しています。履修期間は4ヶ月とし、本プログラムを修了した受講生は、学校教育法第105条の規程に基づく「帝塚山大学奈良観光英語案内士」の履修証明を交付しています。

1 日本及び奈良に関する文化・歴史を学ぶ科目



2 実践英語と観光英語を学ぶ科目

03

3 観光地奈良での臨地講義と実践演習

## 多彩な行事を開催

## 考古学研究所

主として飛鳥時代以降を対象とした、考古学の研究を進めており、その成果は「研究報告」として刊行しています。行事としては歴史考古学研究会、古代瓦の復元制作の実習、春と秋の「遺跡探訪」などがあります。また、学生や一般の方々を対象とした「市民大学講座」を、毎月第2・4土曜日に開催しています。



### 知的好奇心を 刺激する ユニークな施設と 実習環境



帝塚山大学では、独自の教育理念を実践するため、学びを円滑にするための施設や、地域のために開放された施設など、ユニークな学びの環境が整っています。

## 博物館実習も学内で

## 附属博物館

平成16年4月、東生駒キャンパス内において、奈良県内の大学では2番目となる博物館相当施設の指定を受けて、「帝塚山大学附属博物館」がオープンしました。約3,150点にも及ぶ貴重な資料などを広く一般に公開しています。また、学芸員の資格取得に必要な博物館実習も当館で実施しています。



## 国内外の研究者による講演も実施

## 経済経営研究所

経済経営研究所では、年度ごとに経済学部・経営情報学部からプロジェクトを募り、研究費を助成しています。本研究所では国内外の研究者を招き、時系列分析や経済成長論などの分野について、最先端の研究の講演などを通じ、学術文化の進展に寄与することを目的としています。一般市民の方々を対象としたシンポジウムも開催しています。



## 「奈良学」に基づき日本文化を研究

## 奈良学総合文化研究所

奈良の文化的事象を研究して情報発信する「奈良学」の趣旨に基づき、日本文化の研究を推進し、学術文化の進展に寄与することを目的とした研究所。各分野の専門家を研究員として、各自のテーマを専門的に研究するほか、共同研究をはじめとして関連資料などの収集、研究成果の公表・公刊などを行っています。また、学生はもちろん、広く一般市民の方々を対象としたシンポジウムや公開講座も開催しています。



## 自然・社会・情報環境を研究

## 人間環境科学研究所

人間環境科学研究所は、専門領域を越えてスタッフが結集。主に自然環境や社会環境、情報環境について研究し、その結果は「人間環境科学」誌上で発表される他、シンポジウムなどでも報告されます。また、研究成果の社会還元を目的として、「水の不思議」「空気の不思議」「土の不思議」「光の不思議」などの中学生を対象とした実験講座を実施しています。



## 心の問題における地域貢献の場

## こころのケアセンター

大学院教育の実践と研究、さらに心の問題についての地域貢献の場として開設。臨床心理士の資格をもった教員や職員、及びその指導の下に大学院生が相談を受け、カウンセリングや遊戲療法を行います。また、社会性の発達につまづきのある小学生のためのグループ活動を行って社会性の向上を目指し、保護者の話し合いを通じて、子どもの成長を支援しています。



## 一般の方も閲覧が可能

## 図書館

図書館の蔵書数は約60万冊（本館381,898冊、分館220,778冊）。蔵書は全てオンライン検索できます。また、研究等で必要な書籍について、内外の図書館から取り寄せる事もできます。生涯学習・地域貢献の一環として、図書館を開放していますので、一般の方も閲覧できます。



## 地域に開かれた施設で子育てを応援

子育て支援センター  
(まつぼっくり)

\*現代生活学部内設置施設

子育て支援センターでは、地域に開かれた施設として、地域の保護者や子どもたちの交流のお手伝い、子育て講座や親子の触れ合い遊び、また子育てに関する相談活動など、各種の子育て支援プログラムを企画・実施しています。



04

東生駒  
キャンパス

HIGASHI IKOMA Campus



## 人文学部

### 日本文化学科

専任教員数：12 入学定員：110

#### 人材養成目的

歴史・民俗・文学・芸術にわたる日本の文化的伝統に関する豊かな経験と深い認識とを有し、それを地域の文化や現代社会に生かしてゆける人材を養成します。



#### 専任教員の主な研究分野

- 民俗学
- 日本民俗宗教史
- 中世文化史
- 日本古代の寺院・土地所有
- 日本近世演劇
- 日本美術史
- 博物館学
- 日本近代文学
- 日本語教育
- 歴史地理学

## 人文学部

### 英語コミュニケーション学科

専任教員数：11 入学定員：100

#### 人材養成目的

高い英語運用能力と対人のコミュニケーション能力を身につけた上で、社会生活の様々な場面で英語を駆使したり、深い内外の文化理解にもとづいて日本を海外へ発信したりすることができる人材を養成します。



#### 専任教員の主な研究分野

- 多文化教育
- 世纪末フランス文学
- アメリカの歴史と社会
- コミュニケーション学
- コミュニケーション教育学
- 言語学
- 英語学
- 異文化間コミュニケーション
- アメリカ合衆国における教育・家族・子どもの文化史
- 英語教育学

## 経済学部

### 経済学科

専任教員数：20 入学定員：220

#### 人材養成目的

深い教養と豊かな人間性を兼ね備え、国際社会で活躍できる経営人を養成することを理念・目的とし、それを実現するため、社会全般に関心を持ち、問題を発見する能力、情報を収集し分析する能力、問題を解決する能力を持った人材を養成します。



#### 専任教員の主な研究分野

- 労働経済学
- 公共財と貿易構造
- 公共政策
- 金融・証券市場
- 経営人間学
- 宗教経営学
- 西洋経済史
- 交通経済論
- 社会保障論
- 自治体行財政論
- 応用統計学
- 財政学
- マクロ経済学・ミクロ経済学

## 経営学部

### 経営学科

専任教員数：22 入学定員：225

#### 人材養成目的

変動するビジネス・シーンに対して有用な情報技術を基礎として、解決すべき諸問題を発見し、それらの諸問題の解決に向けて組織的かつ創造的に自立した行動をとることができ、グローバル競争においても会社での自己の利害と全体利益とをバランスさせた行動ができる人材で、国際的に通用する冷静かつ適切な判断能力に基づいた行動がとれる人材を養成します。



#### 専任教員の主な研究分野

- 國際会計論
- 監査論
- 会計
- 経営者論
- プログラミング言語入門
- 情報システム
- 日本経営史
- 経営分析・企業評価
- 観光産業論
- 離散的OR
- 國際経営論
- 経営情報論

## 法学部

### 法学科

専任教員数：17 入学定員：160

#### 人材養成目的

豊かな法的素養と確たるリーガルマインドを備え、適切な問題解決に不可欠な政策的思考力をも有し、かつ、グローバル化に対応できる国際感覚を身に付いた人材の養成を目的とし、この目的を達成することによって、市民参加型の「法化社会」の実現・維持・発展の一翼を担う法学部出身の公務員、企業人、そして前二者を含む一般市民を育成し、同時にまた、21世紀の国際社会に貢献することで日本を支えていくことができる人材を輩出します。



#### 専任教員の主な研究分野

- 契約法
- 國際私法
- 犯罪学
- 平和学
- 知的財産法
- 損害賠償論
- 経済法
- 地方自治
- 民事訴訟法
- 会社法
- 消費者法
- 日本政治外交史

## 大学院

人文科学研究科、経済学研究科、法政策研究科、心理科学研究科の4つの研究科4専攻を有し、それぞれの専門分野をより深く、より高度に究めます。



### 人文科学研究科

#### 日本伝統文化専攻

(博士前期・後期課程)

##### 人材養成目的

日本伝統文化専攻では、日本伝統文化を総合的かつ体系的に究明し、有形文化や無形文化の探求を通して、日本伝統文化に関する高度な専門職業人の養成や学際的視野に立つ研究者の育成を行います。



### 経済学研究科

#### 経済学専攻

(博士前期・後期課程)

##### 人材養成目的

経済学研究科では、変動する社会のニーズに応えられる幅広い視野と高度な専門知識を持つ研究者、職業人ならびにエコノミストの養成を目的としています。

## 学園前 キャンパス

GAKUENMAE Campus



## 心理学部

### 心理学科

専任教員数：13 入学定員：100

#### 人材養成目的

人間社会の抱える諸問題を、人間の行動と心理を中心とした科学的学問体系に基づいて研究・理解・認識するとともに、心の時代にふさわしい問題解決能力と他人への共感性を備えた人材を養成します。



#### 専任教員の主な研究分野

- 臨床発達心理学
- 生涯発達心理学
- 行動生理学
- 応用心理学
- 知覚心理学
- 神経科学
- 運動生理学
- 老年心理学

## 心理学部

### 地域福祉学科

専任教員数：11

平成23年度より学生募集停止

#### 人材養成目的

地域に居住するすべての人が、地域社会の構成員として日常生活を営み、自らの条件に応じたあらゆる活動に参加できるよう地域社会を総合的に研究し、從来の福祉分野のみならず総合的なマネジメントを担っている専門の職業人を養成します。



#### 専任教員の主な研究分野

- 保健医療福祉
- 被害者福祉論
- 地域基礎教育
- 介護福祉
- 社会福祉政策
- 社会福祉援助技術
- 心理外傷(トラウマ)

## 現代生活学部

### 食物栄養学科

専任教員数：13 入学定員：120

#### 人材養成目的

国民の健康に関する諸問題がますます多様化、複雑化する現代社会において、幅広い教養を基礎とする豊かな人間性と高度な専門知識および技術をもって、栄養や健康について提言できる人材を養成します。



#### 専任教員の主な研究分野

- 栄養疫学
- 食物学
- 脂質生化学
- 給食栄養学
- 臨床栄養
- 實践栄養学
- 調理学

## 現代生活学部

### 居住空間デザイン学科

専任教員数：9 入学定員：70

#### 人材養成目的

21世紀のより良い生活空間の創造を目指して、生活者の視点から人間生活に関わるモノと空間に関する諸問題を包括的、体系的に捉えることの出来る人材を養成すると共にデザイン教育を重視し、企画力、創造力など、モノづくりに関わる実践的な能力と技術に精通した人材を養成します。



#### 専任教員の主な研究分野

- 織物学
- コンクリートの施工性
- 光環境評価
- 耐震改修
- 環境デザイン
- インテリアデザイン
- 建築計画・設計
- 住居計画

## 現代生活学部

### こども学科

専任教員数：14 入学定員：100

#### 人材養成目的

子育てをめぐる環境の変化について深く分析するとともに、様々な角度から子どもについて研究し、子どもの健全な成長・発達を支援することのできる人材を養成します。また、保護者と連携して子育てを支援し、地域の子育てネットワークを活性化できる人材を養成します。



#### 専任教員の主な研究分野

- 発達心理学
- 教育方法学
- 小児科学
- 教育学
- 認知音楽学
- 日本語学



Tezukayama University Graduate School



### 人文科学研究科

#### 日本伝統文化専攻

(博士前期・後期課程)

##### 人材養成目的

日本伝統文化専攻では、日本伝統文化を総合的かつ体系的に究明し、有形文化や無形文化の探求を通して、日本伝統文化に関する高度な専門職業人の養成や学際的視野に立つ研究者の育成を行います。



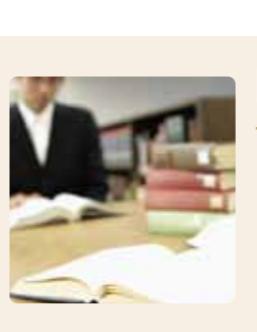
### 経済学研究科

#### 経済学専攻

(博士前期・後期課程)

##### 人材養成目的

経済学研究科では、変動する社会のニーズに応えられる幅広い視野と高度な専門知識を持つ研究者、職業人ならびにエコノミストの養成を目的としています。



### 法政策研究科

#### 世界経済法制専攻

(博士前期・後期課程)

##### 人材養成目的

世界経済法制専攻では、地球規模の市場経済システムの健全な発展のための世界経済法制確立に必要となる基本ルールを、日本法の改革とグローバル・スタンダードへの模索という視点から多角的に考察し、世界経済法制に関する高度な知見を持ち、国際協力の理念により知的な国際貢献ができる人材の養成を行います。



### 心理科学研究科

#### 心理科学専攻



## History Since 1964

- 1964年 帝塚山大学 教養学部 教養学科設置
- 1982年 帝塚山考古学研究所設置  
(1997年～帝塚山大学考古学研究所)
- 1987年 帝塚山大学 経済学部 経済学科設置
- 1991年 帝塚山大学 大学院 経済学研究科（修士課程）設置
- 1992年 帝塚山大学経済経営研究所設置  
帝塚山大学園芸文化研究所設置  
(2000年～帝塚山大学芸術文化研究所)  
(2006年～帝塚山大学奈良学総合文化研究所)
- 帝塚山大学園人間環境科学研究所設置  
(2000年～帝塚山大学人間環境科学研究所)
- 1993年 帝塚山大学 経済学部 経営情報学科設置  
帝塚山大学 大学院 経済学研究科（博士後期課程）設置
- 1996年 帝塚山大学 大学院 人文科学研究科（修士課程）設置
- 1997年 帝塚山大学 法政策学部 法政策学科設置
- 1998年 帝塚山大学 経営情報学部 経営情報学科設置  
帝塚山大学 大学院 人文科学研究科（博士後期課程）設置
- 1999年 帝塚山大学 教養学部を人文科学部に改組し、  
人文科学部 日本文化学科・英語文化学科・人間文化学科設置
- 2000年 帝塚山短期大学を帝塚山大学 短期大学部に組織変更
- 2001年 帝塚山大学 大学院 法政策研究科（修士課程）設置
- 2003年 帝塚山大学 大学院 法政策研究科（博士後期課程）設置
- 2004年 帝塚山大学 人文科学部人間文化学科および短期大学部を改組し、心理福祉学部 心理学科・地域福祉学科、  
現代生活学部 食物栄養学科・居住空間デザイン学科設置  
帝塚山大学附属博物館設置
- 2005年 帝塚山大学心のケアセンター設置
- 2006年 帝塚山大学 法政策学部 ビジネス法学科・公共政策学科設置  
帝塚山大学 現代生活学部 食物栄養学科 管理栄養士養成課程設置  
帝塚山大学 大学院 人文科学研究科・臨床社会心理学専攻（修士課程）設置
- 2009年 帝塚山大学 現代生活学部 こども学科設置  
人文科学部を人文学部に、英語文化学科を英語コミュニケーション学科に改組
- 2010年 帝塚山大学 法政策学部 ビジネス法学科・公共政策学科を法学部法学科に改組
- 2011年 帝塚山大学 心理福祉学部を心理学部に改組
- 2012年 帝塚山大学 経営情報学部経営情報学科を経営学部経営学科に改組  
帝塚山大学 大学院 人文科学研究科・臨床社会心理学専攻（修士課程）を  
心理科学研究科・心理科学専攻（博士前期・後期課程）に改組



帝塚山大学は、(財)大学基準協会の定める大学基準に適合している大学として、2003年4月付で正会員として認定を受けました。さらに2007年度には同協会の大学評価および認証評価を受け、大学基準に適合しているとの認定を受けました。認定期間は、2008年4月から2015年3月までの7年間です。

## HIGASHI IKOMA Campus

近鉄奈良線「東生駒（帝塚山大学前）」駅下車、「帝塚山大学」行きバスで約5分、徒歩なら約15分  
「帝塚山住宅」行きバスを利用することも可能です。（「東生駒一丁目東バス停」下車徒歩約2分）

東生駒キャンパスまでの  
所要時間

阪神  
三宮から  
**約62分**

梅田から  
**約31分**

なんばから  
**約22分**



奈良から  
**約14分**

京都から  
**約46分**

## GAKUENMAE Campus

近鉄奈良線「学園前（帝塚山学園前）」駅下車、南出口徒歩約1分  
「学園前」駅は特急・快速急行などすべての電車の停車駅です。

学園前キャンパスまでの  
所要時間

阪神  
三宮から  
**約65分**

梅田から  
**約34分**

なんばから  
**約25分**



奈良から  
**約9分**

京都から  
**約41分**

大阪サテライト  
キャンパスまでの  
所要時間

京阪本線 北浜駅下車、徒歩約5分  
大阪市営地下鉄堺筋線 北浜駅下車、徒歩約1分

